

伊佐市立中学校再編成保護者意見交換会（羽月・羽月北小校区）	
日 時	平成23年11月28日（月） 午後7時00分～午後9時30分まで
場 所	羽月小体育館
出 席 者	学校教育課長・事務局 参加者 35人
<p>○ この間の説明会で早い段階での説明をして欲しかったと質問した。その中で市長はそれは必要なかったと言われた。それは覚えていますか。（はい）この会を持たれたということは保護者の意見を聞いていただけなのか。</p> <p>・ この間の説明会での市長の答弁は、「本来教育行政は、市が方針を持って責任ある教育をどうするかということを決めていくこととなります。市民全員にアンケートを採ったりしてその多数により決めていくものではなく、行政の責任として市がおこなっていかなければならない。最終的には議会に諮って決定される。各校区に説明がないということについては、PTA代表やコミュニティ代表等の協議会の中で校区の意見を吸い上げて協議していただき、その意見等を尊重して修正し方針を出したものを今日皆様に説明に上がっております。そのようなことで市民の皆様には市の方針は伝わっているものと理解しております。」と答弁いたしました。市の施策の方針がこの再編成で教育環境を整えていくということを最優先で考えている。市内の生徒が平等に公平に義務教育の恩恵のあずかれる様な体制を作っていくというのが教育委員会の方針と考えている。</p> <p>○ 今から私たちが言うことを取り入れてもらえるんですかという質問なんですが。</p> <p>・ 今日の意見交換会の趣旨は、皆さん方からの意見で再編成に関して取り入れなければならないものは取り入れていくということです。ただし、市の方針として進めるものについてこの再編成に反対だから中止していただきたいというような意見交換会ではありません。この再編成について保護者の方々が持っている不安を聞いてそれをどのように解消していくかということがこの意見交換会の趣旨であります。</p> <p>○ 羽月小ではこの再編成の話を大々的にしてこなかった。それはご存知ですか。</p> <p>会長 この再編成協議会が発足したのは3月からでその中に羽月小は入っていなかった。協議会委員から再編成される学校の小学校PTAが入っていないのでその学校を入れるべきだとの意見が出され、羽月小の代表として第3回協議会から参加した。最初参加する時何も分らなかったもので、PTAの3役それと理事会構成のメンバー、各クラスの会長の方々にこのような話がありますということをお話しております。その中で皆さんはこのことに対してどう思われますか、という話をしております。その中で再編成反対という意見が7割ぐらいでした。そういうことを再編成協議会に参加してその意見を話をしてきております。その後、南中校区の意見を取りまとめなければならないということで、羽月のコミュニティセンターで各地区の代表の方々約30名位の方々に南中校区の意見の方向をどのようにするかということをお話をいたしました。その中に教育委員会の方も来ていただいて再度再編成の実施計画案の</p>	

話をさせていただきました。行政としてはこの方向でいくということでありましたので、南中校区の意見としては、まず第一に反対ですと意見を出しました。ただし、反対をしていたら話が先に進まないということもありましたので、南中校区の子どもたちがどういう環境で教育を受けられて、一番いい形はどのような方向があるのかということの中で協議いたしました。今回の実施計画案では曾木小と針持小が分かれて菱刈中に行くということでありましたのでこれは止めていただきたいと、南中を再編するのであれば全員同じ中学校に行くということが第一の条件であると、その前提で再編成協議会に参加するというものであります。それから協議がスタートいたしました。前田さんがPTAに何も話が無かったといわれております。私の説明不足のところもあります。再編成のことについては子ども便で情報は届けていたのですが、それが伝わっていなかったということでもあります。再編成協議会の傍聴をさせていただきたいという申し入れをして、教頭先生から協議会の傍聴について文書を出していただいております。PTAでも1学期の理事会で今回このような再編成の話がありますので各クラスで意見を集約してくださいということをお話しております。そのような手順をいたしました。ただし、このような全体会はしておりません。今回のこの会で不明な点や不安な点を聞いていただきたいと思っております。

- 5年生の保護者は中学校の3年生の時に違う学校に行くことについて不安を持っている。5年生の保護者だけで集まって出した答えが反対であるということです。その理由は、
 - 1点目 再編するにあたり制服・副教材等今の小学校5年生が中学校に入学するまでに決めなければいけないことが多い。再編までの時間が短いのではないかと。
 - 2点目 再編後の準備委員会で7つの部会に分かれている。PTA代表が2名となっている。これでは各学校一人も入れない。こういう考えです再編は反対です。
 - 3点目 羽月小には再編の話が入ってこなかった。もう一度議論していただきたい。納得した形で再編を行いたい。
 - 4点目 現在の再編の形では大口中の教室が足りないと聞いている。もし本当ならあまりにも無計画な話ではないか。これについて教えてください。
- ・ 再編時期が27年度では間に合わないのではないかとということについて、副教材等については24年度に全てすり合わせする。25年度から3中学校同じ副教材等を使用する。制服については購入方法するのか、混在でいくのか、統一するのか、準備委員会で決めていきます。
- ・ 準備委員会の部会等の人数については、皆さんの意見を伺ってPTA連絡協議会等とも協議して皆さんの意見が反映される構成にしていきたいと思っております。
- ・ 再編成に係る情報については、7月から3回全世帯に市報と一緒にお知らせしております。
- ・ 大口中の校舎の不足については、当初計画の時点で不足することによって増築・改築を考えて26年度の時点で完成して、27年度から対応するようにしております。
- 会長 今回の回答につきましてはどうでしょうか。
- いや、反対です。建物を作るといわれたが、まだ、議会でも決まっていないうえですね。もし反対されたらどうするんですか。
- ・ 教育施設について、議会でも決まっていないうえから出来ないというのではなく、行政として必要なものは作っていくそれが行政であります。

- ・ 議会には、学校の設置条例をかけますが、市の方針と計画は説明しており大口中の増築の計画はしておりそういうふうにご理解していただきたい。
- 会長 今回の回答はどうですか。
- 先ほど会長が言われた 7 割反対というのは通らなかったのですか。そういう意見は反映されなかったのですか。
- ・ 協議会で代表の方々が意見を戦わせて、委員全員が最も重視すべきことと考えたことは「子どもたちのために中学校はどうあるべきか」ということでもあります。そして、再編成については必要であるという結論にいたり、本日配布いたしました意見書となっております。
- 再編成の時期だけが決まっている。内容は準備委員会で決めることになっている。いろいろなことを決めてから出来ないのか。このまま進んでいくと保護者の意見が反映されないのではないかと心配している。いろいろなことを洗い出してから再編でいけないのか。何で再編の時期から決めるのか。
- ・ 今回の再編成については 4 年後を見据えて決めてきた。24 年、25 年、26 年の三年間でいろいろな細かいところまで決めて再編するという事です。
- 3 年といわれるが実質 1 年である。気に入らなかつたら他の学校に行かなければならない。私立も含めて考えなければならない。
- ・ 再編の時期は 27 年です。保護者の方々の不安を解消するために、話し合いや意見交換会をして、24 年度に決めて行くこと、その後に決めること等について洗い出して準備委員会に反映していきます。
- 不安を解消してから再編してください。保護者の願いです。不安がある再編には反対です。
- 会長 その不安を解消する方法論について考えがあれば、お聞かせください。
- 細かいことを決めてからといいましたよ。
- 会長 細かいことを決めてからということは、今後、準備委員会で決めていくようなことを決めてからということですか。確認の意味で
- 準備委員会でいろいろなことを決めて保護者が納得して上で再編してくださいということですよ。再編の時期が決まっているということは順番が逆ということですよ。
- 会長 再編成の時期が 27 年度に決まっているわけですが、例えば細かいところが決まらなくて、この再編成がずれることがありますか。
- ・ 再編成が伸びるということは予定にない。27 年度に再編成をする方向で進んでいくと思います。先ほどから細かいところを決めてから再編すればいいと言われます。方法論はあるかもしれませんが、方針を決めないと準備委員会等を立ち上げられないということもあります。伊佐市の再編成の方向性は方針等について議会の議決を受けて進んでいくということですよ。
- そういう方向性であるのであれば、5 年生の保護者は反対です。そういう意見でまとまりました。納得するまでは反対です。何が何でも反対ということではない。不安を解消してくださいといっている。4 月になったら騙されるかもしれない。
- ・ 騙されるというその意味がよく理解できない。
- 再編成ありきの話し合いであったのではないのか、見ましたけどメリットはいっぱいデメリットは少し、この準備委員会の PTA の人数にしても、保護者のことなんか考えていないので

はないか。信用できない。

- ・ この準備委員会の構成については、先ほども申しましたがこの意見交換会や市民説明会から出された意見等を参考に、PTA 連絡協議会等ともタイアップして決めていくことになると思います。
- 会長 他の方もいろいろこんな不安がある。ということ意見をあれば言っていたらいいと思います。
- 5年生の保護者です。説明会に来ていませんので、なぜ合併しないといけいないのか、あと、山野中が本来ならこの時期大口中と一緒にいると思うのですが、それが今まで延びている理由を教えてください。
- ・ 山野中が今まで延びている理由は、平成 20 年度の合併後に、山野中の保護者から伊佐市全体の中学校の教育委員会としての方向性を示していただきたいということでありました。教育委員会として出したのが今回の伊佐市全体の中学校再編成実施計画であります。その中で山野中も同じように 27 年度に再編成する方向で計画いたしております。
- ・ 必要性について 市民説明会資料により説明
- 会長 山野中の再編のことは 20 年に話が出たということです。24 年に再編するということで話が進んでいた。その中で山野中学校 PTA 連絡協議会を作り 22 年度に意見書を出されております。その中で子どもが少なくなっていく中で再編成は致し方ないだろうと、ただし、伊佐市がこういう教育ビジョンを示していないから難しいだろうと、だから、そういう教育ビジョンを示してくださいという意見書を出されています。それと、統合に対する具体的な案を示してください。また、山野中校区の地域への配慮、並びに跡地活用の検討もコミュニティと十分に協議していただきたい。平成 22 年の 10 月に出されております。今回協議会の中で南中学校区と山野中学校はいろいろと意見交換をして、協議会の中で意見書とか要望書に可能な限り反映はさせていただいた経緯はあります。
- 山野地区の方々は今回の再編成には賛成されているんですか。
- 会長 今回の再編成ですね。山野地区は生徒数が 60 人を切るような状態になるそうです。
- 南中校区はまだ 100 人以上いる。60 人を切るときでいかないのか。
- その意見も協議会で申し上げた。南中校区だけを残してくれということと言った。協議会の中では教育委員会が示した南中校区を大口中、菱刈中に分かれていく案に賛成する意見も出された。そういうことだと南中校区はこの協議会にいる意味がないと申し上げた。そしたら議長からそれでは話が先に進まないから南中校区とどういふふうに進めていったらいいかということと言われて、それがだいぶこの中には反映していただいているところです。
- ・ 人数が 60 人切るまで待てないのかということについては、先ほど資料でも説明いたしましたが、中学校の授業は専科教諭が必要であります。中学校の先生の数は学級数で決まりますのでどうしても先生が南中も不足します。そういうことを解消するためには再編成する必要があります。
- ・ 学級数により先生が不足する教科は他の先生が臨時免許を取って教える事になります。臨時免許を取った先生は、その教科は専門ではありませんので教科書や指導書勉強してその教科を教えますがどうしても専門でないためにレベルの高いところを教えられないということにな

ります。そういうことから一定程度の学級数が必要であります。

- 再編成については来年の3月まではまだ決まっていますよね。
 - ・ 確かに正式決定ではありません。再編成については、学校の設置条例があります。これについては、議会の議決が必要であります。まだ決定していないことを何で進めるのかということと言われる。行政は教育に対して責任がありますので、それについては当然将来に向けた取り組みをしていかなければなりません。今回の再編成は、平成27年度に再編成の方向に進みますという素案を作り、協議会にはかり協議会の意見を尊重して修正して市民説明会、本日の意見交換会ということであります。そういう中で、保護者の方々が今抱かれている不安をお聞きして、準備委員会で早めに対応していくことにより生徒・保護者の不安の解消をしていくということであります。
- 不透明な部分が多すぎて反対というのがありますよね。まだ、決まっていないのをしなくてもいいんじゃないかと個人的な意見です。3月で決まってからしてもいいんじゃないかと。
 - ・ 私どもとしては3月に正式決定されてから準備委員会に入るということです。その前に教育委員会として伊佐市の中学校の今後のあり方について再編成の方向に向かわざるを得ないということをご説明しているところです。
- 5年生の保護者としては再編成については反対と、実際自分たちの子どもが中学校3年生になるその時になるからです。5年生の希望としてはならないほうがいいのですが、再編成になった場合一つの考えとしては5年生4年生の保護者、子どもたちが中心ですが当事者です。5年生4年生の保護者の意見を準備委員会で平成27年再編成予定という目標をもって100%は無理としても自分たちが話し合っ意見を集積していくために、もし再編成になった場合は、まず、5年生4年生の意見を尊重して欲しいという希望はあります。羽月小の5年生としてはならないほうが良いという考えなんですけど、どうしても決まったら5年生4年生の保護者の意見を聞いていただきたい。
 - ・ 準備委員会や部会等には24年度の新役員に入っていて、そういう方々が保護者の意見等を吸い上げて部会等に反映できるような組織作りを考えていきたいと思っております。
 - ・ 今貴重な意見をいただきました。先ほども部会等に小学校のPTA代表がすくないという意見もいただきました。このPTA代表が例えば羽月小の代表者だと仮定して、その下に保護者の方々が意見を吸収するような組織を作り、意見を集約して部会等で考えを言っていただいて生徒・保護者の不安を解消して再編成がスムーズに行くような体制作りをしていきたいと思っております。
- 議会で正式に決定されたら、自分たち保護者の意見を聞いていただきたいと思っております。
- 今後こういう話し合いの場をどんどん設けていただいて、ただ、再編成までの期間が短いと思う。あと、2・3年後のことを今すぐ決めなさい。というのは酷だと思う。あと今の南中で情熱のある先生に行ってもらおうと書いてありますが、それは本当に実現されるのか。
 - ・ 先生の人事は県の教育委員会が行います。教育長としてはこの間の説明会で、そういう先生方を出来るだけ新しい学校に行っていただけるような計画にしたいと答弁されております。
- 一番心配なのは保健室の先生、その先生方に一緒にいってもらわないと、その生徒の特徴を伝えてもらわないと、本当、中学校3年生は内申書とかかかれる時期でありますので、そう

いうところは本当に大丈夫なんでしょうね。

- ・ 先生方の移動は人事異動の標準がある。例えば一つの市町村の場合 8 年ぐらいが限度です。いわれることは充分わかりますが、人事権等もありますのでそのようになっております。ただ、生徒については個別の支援カルテ等を作っておりますので、必ず小学校から中学校、高校と引き継いでいくような体制にしておりますので安心していただきたい。
- 今の羽月小は、先生方がいろいろ不安になったとき話を聞いてくれるというのを子どもから聞いている。大きい学校になったときいろんな子どもと接することになるんですが、そのような不安を抱えたとき、そのような不安を解消するために、今のうちから小学校の 5 年生から大口小学校とか、いろんな他の学校と交流させて、子どもたちの意見を親が聞けるような体制がしていただくためには 2・3 年では期間が短いのではないかと思います。
- ・ 今いわれたように、大きな学校と小さな学校との交流を、24 年度計画をして、出来れば 24 年度から始められれば良いんですが、25 年度 26 年度に実施していくということで充分だと思っております。
- 低学年の親の出席者が少ない。小学校の PTA のほう全 PTA 会員に参加していただいて、自分の子どものこととして考えて意見を出していただいて、その要望を聞いていただきたいと思っているんですが。
- ・ 本日のこの意見交換会については、羽月小学校の全保護者に文書は出しております。保護者の方々が自分の子どものことですので関心を持って参加していただきたいと願っております。資料についても全員に配布する予定で持ってきております。
- 不安を解消してから再編成してくださいということです。
- ・ 今の教育委員会の予定では 3 月議会上に条例改正案を提案して、正式決定してから準備委員会を作って事になります。今日のことは報告をします。不安を解消してから再編成してくださいということについては上司に報告します。
- 返事をもらえないのか、もう決定だからその話はないよということですか、人数が減ってることが分っていてなんで市のほうは準備してこなかったのか、今まで人数が減ることが分っていて放置してきたのか、市の怠慢ではないか、そのことに対してはどうですか。
- ・ 3 年の間に準備をするということを申し上げております。人数のことについては教育委員会としても把握はしてきております。その中で山野中のクラス数が 1 クラスになりこの対策して再編成の必要性を検討されてきております。そして大口南中も平成 25 年度から単学級になることが予想されましたので、伊佐市全体の中学校のあり方が検討され今回の伊佐市立中学校再編成実施計画として市民の皆様にお示ししているところです。先ほど言いましたように 3 月議会上に提案して可決されれば 27 年度に再編成するという方向に進んでまいります。
- 不安を解消してからの合併はだめですよといわれているんですね。もう、合併するとおっしゃるんですね。そういうことですか、今日のこの話は何なんですか、不安解消をしていないのに再編成していいんですか、要望書に書いてありますよね。市民説明会及び意見交換会を行い、小学校区ごとに PTA 及び保育園児等の保護者とコミュニティに分けて実施し、十分に理解を得ること。理解を得たといえますか。だから、合併するなどは言っていません。不安を解消してから合併してくださいといっております。合併に反対なのではありません。不安

を持ったまま合併することに不安を持っております。

- ・ その意見は上司に報告します。
- 返事はもらえないのですか。
- ・ 返事は会長のほうにいたします。
- 会長 その不安解消の方法としてのやり方、たぶん、行政サイドが考えたのが、不安解消の方法として、このような意見交換会の中で行政サイド思いつかないようなことが保護者の方々から意見が出てきて、それを吸い上げて
- まだ、なんも決まっていなんでしょう。何を言ってもまだ何も決まっていなんでしょう。
- 会長 不安解消の方法論としてはどのような形で、行政サイドが考えたのがこのような意見交換会であったり市民説明だと思う。その中で皆様方が不安に思うことを言っていて行政として改善しなければならないことを改善して行って、その時の当事者になられる方に納得していただき理解していただくそれが方法論だったと思うのですが。是非いろんなことを言っていてその中で不安解消の方法論が出てくればいいのかと、ただし、今発言されたように 5 年生は今の現状では反対だよと、そういう方向でまとまりましたよということであれば、持ち帰られて報告されると思う。ですから、皆さんいろいろなご意見を持っているので言っていたきたいと思います。
- 前回の 5 年生の会に出ていなくて失礼な意見になりますが、27 年の目標を設定することは正しいことなのかと思っております。例えば、私の子どもは野球をしている。野球は練習をしながら自信がついたときに試合があるのではなく、やはり試合あるから練習をして力を付けていくと、なので、その試合という目標が例えば平成 27 年とした時に、大切なことはそれまでにどうやって不安をなくしていくか、ですね。先ほど言われたことがそのままだと思います。自分は 27 年再編成には賛成なのですが。大事なのは平成 27 年再編成に向けて検討してくださるということだったですよ。そこをどうやっていくかということが大事だと思います。ですから、ここには大まかな計画だけであって実際不安を取り除くどうやって行くというのがないので、細かく長期の目標と短期の目標を設けて聞いた意見に対しては回答していただく、ということ。それは、バスをどうするかということではなく、いろいろな細かいことがいっぱいありますので、それに一つ一つ答えていただけるといえるのであれば、不安のほうは解消していけるのではないのかと思います。本当に不安はあります。検討委員会でメリット、デメリットいろいろあったと思いますけど、まず、行政の方々が出すメリット・デメリットと自分たちが思っているメリット・デメリットとは違うと思います。中学生というのは一番難しい年頃、将来を左右するような年頃の子どもたちを持つ私たち親と、やはりそれを失礼ですけど客観的に見てそれを取り決めされる方々との視点のずれはあると思いますので、私たちの意見を客観的に見ていただけるようなそういう委員会をしっかりと設けていただいて、当然何度も言いますが私どもの細かい不安に答をもらうような体制、いつまでに意見を出していただきたいと、そして、いつの検討委員会でこのように決めたと報告を受けて、それに対しても違う時にはそれは違うぞと、ですので、3 年後というのはしっかりと設けてそれに向けては確実に準備をしていくと。
- ・ 今発言されたことについては私どもも心配している部分でありますので先ほどらい言われま

すように、この部会に意見も持ってきていただけるように、また、部会で経過を報告してそれに対して意見がいただけるような各小学校の組織作りを考えて保護者の不安解消を行って行きたいと思っているところです。

- 会長 今後いろいろな疑問や不安を抱えると思うのですが、それを再編成の準備委員会にどのようにして意見として反映していただくかについて、各学校にそういう組織を作ってそういう準備委員会の中でやる不安解消の方法、その他に何かありますか。
- 実際再編成協議会に行かれたのは6年生のPTA代表であり、5年生以下の生徒が対象であるのにそこらあたりに矛盾がある。下部の組織を作る、それはいまさらでも、再編成協議会の時にそういうことをしていただけたら助かったのですが、その時に意見をいえたんですよ、何でいまさらなんですか、本当に5年生の保護者ほとんど知らなかった。
 - ・ 知らなかった、このところについてはちょっと違うのではないかと思います。認識のずれはあるかと思いますが、私どもはそのためにPTA会長さんも皆さんに話をされていたと思います。学校からもそれなりの通知は行っていたと思います。何も学校がこのことに対して触れなかったということはないと思います。当然何らかの情報を発信したり、私どもも情報を発信しております。それについて全然知らなかったとか、最初の協議会便りに27年度再編成という目標を入れております。中学校再編成実施計画（案）に対して代表者による協議会が行われておりますと、また、代表者にはこのような方々が入っておりますということもお伝えしております。
- 本当にその時に下部組織でも作ってもらえたらその時に意見が言えた。それは言わなかった我々が悪いんですかね。全然知らなかったわけではないんですよ。うわさは聞いていましたよ。その時今言われた下部組織でも作って不安解消してもらえればすごく助かったんですよ。合併反対で言ってないですがね。不安を解消してからして下さいといっているんですがね。
 - ・ 不安を解消する手段として下部組織を作って、皆さんがたの意見を吸い上げて行くという方向が教育委員会の方針です。
- その場で解消できなかつたらどうするんですか。だから、解消してからの合併をと、解消できなかつたらどうするんですか。
 - ・ だから解消するように努力いたします。
- 努力だけですか。
 - ・ ただ、100%皆さんが納得できる再編成は無理ですが、最大限の努力をして保護者の皆さんがたがある程度大枠で合意できるような体制には持って行きたいと、そうすることで不安が解消できるようにはしたいと思っております。
- 今日のこの会にも低学年の保護者の出席が少ないので臨時のPTA総会でも開いてもらって低学年の親がどう思っているのか、
- 会長 PTAの臨時総会開くのはやぶさかではないのですが、ただ、それを開いた時再編成に賛成・反対を採るのか、それともどういうことを協議するのか。
- もうしなければならぬというのは解っていることだから、自分の子どもが途中で違う学校に行くということにあたって、ここだけの意見だけじゃなく、もっといろんな意見を聞いた

ら、いろいろな意見を聞くことで、PTA と市・教育委員会とうまくいくのではないかと考えているんですが。

- 会長 今いわれることはよく理解いたします。ただ、今日のこの教育委員会との意見交換会については全 PTA にお知らせしております。結果このような状態です。
- 生徒数の減少が伊佐市も例外ではありませんと書いてあります。大口中・山野中は増えて山野中大口中は減少している。その後の生徒数はどうなっているのか。27 年度以降の羽月小学校の生徒数を教えていただきたい。
 - ・ 大口中の生徒数は、平成 27 年 118 名その後平成 34 年度まで約 120 名前後であります。これは南中校区の今の子どもがそのまま全て南中に進んでいくとした時のこのようになります。
- 教頭 来年は小学校の入学者 31 名に増えてますがその後は減少していくと思います。
- 先ほど他の方もいわれましたが、私もいろいろ学校から協議会のことについて情報は来ていたと思いますがそれに目を通していないために、正直この説明会があるときからどうするほうがいいのかということを考えて今があるという状態です。出来たらもっと早くに身のある話し合いが出来て入れればよかったとは思いますが、だから、それをやってきて今の状態であれば素直に話しに乗れたと思います。結局係るのは 4 年生・5 年生の保護者なのにその対象者の話を聞けば難しくなるので聞かないという、そういうやり方に見えて、だから保護者が納得できないと自分は思っている。とにかくこのような会をしても下級生の保護者はあまり関心がない。それは、私も 3 年生の子どもがいるが多分その子だけだと 1 年生から大口中に行けばいいんだとそのような感覚だと思う。ただ、今の 5 年生は中学校で 3 年生になるときに違う学校に行かなければならないということに心配があるから参加していると思う。今後していくうえでは羽月だけでなく曾木小・針持小の 4・5 年生の保護者で話し合いをしていって、子どもが一番過ごしやすい環境にするために保護者が発言して、教育委員会と協議して良い方向に行かなければならないと思う。なんだかんだ言っても議会で可決されたらそれに向かって進んでいくことになるんですが、自分の意見としては保護者の意見を 100% 近く聞いてもらうということです。
- 会長 先ほど提案がありました全体の会については、当事者である 4・5 年生の保護者でないところのことについて重きを置かないというご意見もありましたが、再編成協議会でも意見が出ましたのはとにかく期間が短いということではありました。ただ、こういう話し合いを何回でもして欲しいということは言うておりますので、是非何回でもしていただいて皆さんのご意見をぶつけていただきたいし、保護者の方々が不安に思っていることを、特に 4・5 年生の保護者の方々がですね、現実の私は当事者では無いのでそう意味では 4・5 年生を中心としてこのような意見交換会の場をたくさん持ったほうが良いと考えているんですがどうですか。教育長のほうにもお願いしてありましていろんな形で出てきていただいて意見を聞いていただきたいという申し入れはしております。次回の開催を考えているんですがどうですか。
- お願いですが、不安解消の方法を文書でいただけないのか。こういうことをするから不安にならないというのを文書でいただきたい。
 - ・ 教育委員会が取り組む方向性については、こういうことをして不安を解消するということ。

- 具体的にこういうことをするから不安にならないというのを貰えないか。
 - ・ それは良いと思います。
- こういうことをするから不安は解消するというのを出来る限り教えていただけませんか。そういうことを文書でいただきたい。
 - ・ 出来たら皆さんが思っておられる不安について、具体的に言っていただいてこのような意見交換会で出していただいて、それについて教育委員会はこういう取り組みをいたしますというのを回答していく方向が良いのではないかと思います。
- だったら不安を解消してから合併するべきであって、不安を解消するあれがあるから決まってから始めるでしょう。それは逆ですよ。
 - ・ それはこういう意見交換会の要望があることによって。
- だから、何が不安があるかも出てこないから不安を解消してから合併しましょうとっている。それが出来ないのであれば逆にこういう不安解消方法をとりますから合併しましょうと言ってもらったほうが良いんですけど。
 - ・ 方向性と目標は決定しておりますということは先ほどから言っております。協議会から出された要望書の中に、市民説明会、PTA との意見交換会で出た意見等は、準備委員会で反映できるようにすること。出ておりますので、皆さんがこの不安解消ためにそういうことをしていただきたいということですので、いろいろ出ましたご意見は準備委員会で話し合いをして不安を解消していきますということです。それが皆さんの意見が反映されることだと思います。そういうふうにご理解していただきたいと思います。

この後、羽月小P T Aから出された意見等に答える形で年内に再度、会議を開催することで閉会とした。